



## 1 平成28年熊本地震への対応

入学式が終わり、歓迎遠足も雨が心配される中でも滞りなく終了し、

「さあ1年生も本格的に学校生活に慣れるぞ〜。」と意気込んだ木曜日の午後9時26分！震度7のあの東日本大震災以来の激震が熊本地方を襲いました。

皆様それぞれの居場所でこの出来事に遭遇されたことと思います。

突き上げるような揺れとそのあとに来る「たてよこ」の無茶苦茶な揺れで、たいへんだったことだろうと思います。学校では水道管が破れました。明るくならないと、被害の全容がつかめません。他の箇所にも問題があるかもしれません。全容を解明し子どもの安全を確保するには、時間が必要です。

そこで、15日(金)を臨時休業日とし、全職員で安全確保を図ると同時に子どもたちの安否確認や次週の時間割等の連絡に追われました。

月曜日からの学校再開の目途もついた16日(土)の午前1時25分、前回の揺れよりもひどい激震がまたもや熊本地方を襲いました。

私の自宅への重要なアクセスポイントである、国道57号線を破壊し、阿蘇の玄関口の象徴である「阿蘇大橋」(私たちは赤橋と呼んでいました)をも、その巨大な力で破壊しました。

このときには、各ご家庭でも家屋や家の中の家財などがたいへんなことになったことだろうと思います。



ガラスが散乱したトロフィーケース

16日(土)の夕方、私は横島小学校に行こうと色々なルートを試しましたが、消防、警察、自衛隊に止められ、16日には横島には入れませんでした。

17日(日)は朝から全く新しいルートを思いつき、10時頃には横島小学校にたどり着くことができました。

すると・・・・・・・・！！

すでに先生方が大勢学校に駆けつけてくださり、子どもたちが安全に学習できる環境を整え

るために、作業をしていました。

私は、横島小学校の先生方を誇りに思います。素晴らしいと、心から思います。自宅の片付けもあるでしょう。子どもさんのお世話もあるでしょうに・・・・・・・・。本当に頭が下がります。

しかし、学校を再開するためには、もう一踏ん張りの準備が必要です。

そういうわけで、18日(月)も臨時休業日にして、学校再開の準備を行いました。この日も、全職員が必死になって「チーム横島」で活動してくれました。

子どもたちに聞いたところによると、けがはなかったようですので、一安心です。

しかし、恐怖の体験を2度もしていますので、ひょっとしたら、心の奥底にはショックが大きな塊として残っているかもしれません。

素人では難しいかもしれませんが、学校職員全員がカウンセラーのつもりで、子どもさんのお話をしっかり聞き、支えていきたいと思っています。

給食も、調理場内外の点検を済ませたあと、入念に準備をして21日(木)より再開したいと思います。

その間、弁当持参ということになりますが、どうぞよろしく願いいたします。

※学校だより「横島小からの風」は、本校HPでも見ることができます。

<http://es.higo.ed.jp/yokoshimaes/>



造り付けの書棚が横倒し



ひび割れ